

ぴっぷ議会だより

9月24・26日 比布中央学校マラソン記録会

秋空の下、比布中央学校前期課程のマラソン記録会が開催され、1・2年生は約1.5km、3・4年生は約2kmの距離を元気いっぱい駆け抜けました。



- 2 審議結果「第3回定例会」
- 4 一般質問 / 植西 浩一 議員
- 5 一般質問 / 今井 明信 議員
- 6 一般質問 / 遠藤ハル子 議員
- 7 一般質問 / 佐藤 良彦 議員
- 8 令和5年度各会計決算審議
- 12 委員会の活動

第3回定例会

9月10日から12日まで開かれた令和6年第3回定例会では、令和5年度比布町歳入歳出決算認定をはじめ、議案17件を審議し、すべて原案のとおり可決しました。

報告

◆地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく報告

令和5年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率を議会に報告し、財政の健全性を示すものです。

実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率の4つの指標があり、本町の財政はいずれも基準値内で「健全である」との報告がありました。

◆放棄した私債権の報告

住宅使用料の納付が見込めないことから私債権を放棄することが報告されました。

認定

◆令和5年度比布町歳入歳出決算認定

今井明信委員長ほか6人で構成する決算特別委員会に付託され、審議の結果、認定されました。

人事

◆教育長の任命

任期満了に伴い、北川範之氏（再任）の任命に同意しました。



北川 範之 教育長

◆教育委員会委員の任命

任期満了に伴い、佐藤五香氏（再任）の任命に同意しました。

◆固定資産評価審査委員会委員の選任

任期満了に伴い、佐々木裕氏（新任）の選任に同意しました。

財産の取得

◆財産の取得

中央ふれあい広場の遊具更新にあたり、大型複合遊具やふわふわドームなど、遊具等一式を購入するものです。

【原案可決】

指定

◆指定管理者の指定

町立診療所 びつぷくりニックの令和7年4月からの指定管理者を次のとおり指定するものです。

（名称） 社会医療法人 元生会
（代表者） 理事長 森山 領 氏

【原案可決】

規約

◆北海道後期高齢者医療広域連合規約の変更

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律によるマイナンバーカードと被保険者証の一本化に伴い、規約を変更するものです。

【原案可決】

条例

◆比布町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例

本年12月中旬から運用開始予定の各証明書のコンビニ二交付の実施に伴い、条例を改正するものです。

【原案可決】



◆比布町保健福祉サービス手数料
条例の一部を改正する条例

不足している買い物環境を補完する目的で、本年10月から高齢者等移動支援事業（びびたく号）の運行範囲を町外の一部地域に拡大することから、費用負担及び徴収について必要な事項を定めるものです。

◆なお、町外の利用料金は1回あたり（原則往復）300円となります。
【原案可決】



びびたく号と運転手の谷越さん

◆比布町地域包括支援センターの
包括的支援事業の実施に係る基
準を定める条例の一部を改正す
る条例

地域包括支援センターの人材確保が困難な状況を踏まえ、地域包括支援センター運営協議会が必要と認めた場合に限り、柔軟な職員配置を可能とするものです。
【原案可決】

◆ぴっぷぶスキー場の設置及び管理
に関する条例の一部を改正する
条例

施設の老朽化や物価高騰の影響による運営経費の増加、午後8時30分以降における利用者の減少に伴い、営業時間の変更及びリフト料金の改定を行うものです。

◆なお、改正内容の詳細は14ページをご覧ください。
【原案可決】

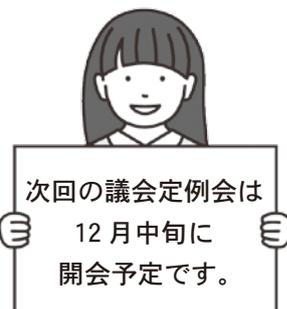
補正予算

- ◆一般会計（第3号）
 - ◆一般会計（第4号）
 - ◆国民健康保険特別会計（事業勘定・第2号）
 - ◆介護保険特別会計（第1号）
 - ◆観光事業特別会計（第1号）
 - ◆簡易水道事業会計（第2号）
 - ◆公共下水道事業会計（第1号）
- 補正額と総額、主な内容は左の表のとおりです。
【原案可決】

意見書を提出

次のとおり意見書を採択し、それぞれ関係機関に提出しました。

◆国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書



令和6年度各会計補正予算（第3回定例会）
<p>一般会計（第3号） 6,636万9千円の増 (総額48億24万5千円) ■特定感染症検査等事業補助金、複合庁舎建設事業の増ほか</p>
<p>一般会計（第4号） 780万円の増 (総額48億804万5千円) ■まちづくり応援寄附金、ふるさと応援寄附金事業の増ほか</p>
<p>国民健康保険特別会計（事業勘定・第2号） 予備費から119万9千円を下記の事業へ充当 ■国保関係事務費の増</p>
<p>介護保険特別会計（第1号） 3,795万7千円の増（総額6億3,395万7千円） ■令和5年度決算確定に伴う繰越金の増ほか</p>
<p>観光事業特別会計（第1号） 740万円の増（総額1億8,117万6千円） ■スキー場運営事業の増ほか</p>
<p>簡易水道事業会計（第2号） 100万円の増（総額3億1,107万4千円） ■他会計補助金、配水及び給水費の増</p>
<p>公共下水道事業会計（第1号） 82万4千円の増（総額9,838万6千円） ■下水道事業債、建設改良費の増ほか</p>



高齢者の運転技術向上講習 実施の考えは

村中町長

運転技術の維持などを目的とした講習会の開催は有効と考える



うえにし こういち 議員
植西 浩一

□質問・植西議員
交通安全白書で見ると「慌て」や「焦り」により運転操作を誤り、重大事故に至る様子がうかがえます。これらの事故は、訓練によって矯正することができると思いますが見解を伺います。

■答弁・村中町長
高齢運転者による交通事故の割合は減少しているものの、事故件数は増加傾向であるため、運転技術の維持などを目的とした講習会の開催は有効であると考えます。本年は白寿大学において、ドライブレシミュレーターを使った講義も計画しています。



ドライブレシミュレーター

□植西議員 「深視力※1」や「高齢者運転者標章の効能」「ディスプレイ運動※2」の必要性についてはどう考えていますか。

■村中町長 事故防止のための様々な装置が付いた車もありますが、免許を返納してしまえば乗れなくなってしまう。車の安全性能が発達していくことと、免許返納については悩んでいるところですが、長く安全に運転してほしい

いという気持ちがありますので、「ディスプレイ」や「高齢者運転者標章」の必要性も含めて講習会ができれば良いと考えています。

□植西議員 あの東京・池袋での事故を起こした当事者は、免許を返すと不便になることから躊躇していたようです。

■村中町長 東京でも車がないと不便を感じるということは、比布町ではなおのことだと思えます。公共交通機関に携わる民間の事業者とも協議を深めながら、交通環境を整えていきます。

※1 「深視力」
遠近感や立体感を判断するための能力。大型免許取得・更新時に測定が行われる。普通免許証では測定なし。
※2 「ディスプレイ運動」
日中からライトを付けて走ることで交通事故防止を図ろうとする運動。

比布町のシンボリック青果物である「いちご」の振興策は□植西議員 「比布町と言えど「いちご」と返ってくるほどイメージ

が強く、多くの方に愛されています。いちご生産農家をどのように支えていこうとお考えですか。

■村中町長 いちご狩りについては、実行委員会などの体制による新たな圃場の管理運営など、課題の解決に向けて関係者とともに検討していきます。また、実証試験栽培を行っていた「冬いちご」については、栽培方法確立の目途がたつたことから、今後は生産者の拡大や普及、ブランド力を活かした販売に対する支援などを行います。

□植西議員 6次化の推進についてはどのようにお考えですか。

また、次の世代に引き継ぐためのコスト対策はありますか。

■村中町長 課題は一つではなくたくさんあって、一つひとつ解決しなければ持続はできないと思えますし、今までは違う考え方で続けていかなければいけないと考えます。

「スキーといちごの町」は比布町にとつてなくてはならないものであり、100年以上続くいちごの歴史を大切にしていきたいと思えます。





介護事業者の現状と 今後の運営に対する考えは

村中町長

協力体制の強化を図り 地域福祉の推進に向け必要な支援を行う

□質問・今井議員

本町の高齢世帯・人口ともに減少はしているようですが要介護認定者の認定率は増加しています。一方で介護事業者の運営は厳しい状況にあると伺っています。

そこで本町の今後の高齢者・要介護認定者へ向けた政策について、比布町社会福祉協議会を含んだ介護事業者の現状とその対応や今後の運営等について次のとおり質問します。

①現在、社会福祉協議会、あそか苑、民間介護施設が運営をしています。経営改善に向けて町内で同種のサービス内容を住み分けることを考えられないか。

②比布町社会福祉協議会の運営内容の改善について考えを伺いたい。

■答弁・村中町長

介護保険サービスは「利用できる時代」から、サービスとして「選ばれる時代」へと変化しています。このため各事業者間での競争が激しくなり、本町でも一部の事業者においては事業運営が厳しい状況になっていきます。

①現在、本町の事業所においてそのサービス内容を住み分けすることは、事業者を限定することにもなり、新規事業者の参入を妨げ、競争原理が働かないことによるサービスの質の低下や利用者の選

択の幅を狭めることにもなりかねない懸念があることから、現段階では、町として住み分けを行う考えはありません。

②現在、社会福祉協議会に対し、訪問介護事業の赤字額のうち9割を町が補助していますが、ホームヘルパー一人当たりの訪問件数が基準となる件数を大きく下回っている状況にあることから、事務局が中心となり地域のサービス需要の掘り起こしや、他の事業者等との連携を図り積極的な営業活動を実践するなど、訪問件数増に向けた取り組みを強化するよう要望しています。

新たな福祉事業等の導入にも積極的に関わっていただき、地域福祉のコーディネート役を担っていただくたいと考えています。今後においては、委託事業の見直しを含め、事業内容等について協議を行い、町民と行政との橋渡し役となつていただけるよう、協力体制の強化を図り、地域福祉の推進に向け必要な支援を行います。

□今井議員 現在、特に道北の小規模自治体にて経営をされていた介護施設等の閉鎖が増えており、このような状況は増していくと考えます。町長はこの現状について、また、町内で新規介護事業者の参入をどう考えているのか伺います。

■村中町長 介護の利用状況について、町外で利用されている方もおりますが、町内にも施設がありますので、できるだけ町内で利用していただきたいと考えます。

新規参入については全く拒否することもできません。需要と供給のバランスが適度に保たれる競争と新規参入があることは望ましいことだと考えます。

□今井議員 町から社会福祉協議会への近年の運営費補助額は約2,000万円ですが、令和5年度収支は196万円の赤字です。現在、様々な地域福祉事業を行っていますが、事業から介護事業を外してはどうかと考えます。その為にもサービス内容の住み分けが必要と考えますが、町としての考えを再度伺います。

■村中町長 町内の住み分けに関しては、民間事業者に対してアドバイスや助言はできても、主導的に事業を縮小したり、事業を拡大させることは行政として難しいと思います。

□今井議員 近隣町でも様々な委託事業等を行っています。今後の社会福祉協議会の運営に対する考えを伺います。

■村中町長 町から介護事業をなくすわけにはいきませんで、どういった方法が最適なのか、これから検討していきたいと考えます。



会計年度任用職員の 処遇改善のために努力を

村中町長

近年の情勢や国・道などの状況を 把握しながら適切な対応を行う



えん どう はる こ
遠藤 ハル子 議員

□質問・遠藤議員

会計年度任用職員制度は、会計年度ごとの1年契約を原則とする仕組みです。再任用も可能とされていますが、自治体によっては再任用の回数を制限しているところもあり、雇い止めが広がるおそれが指摘されています。

6月28日の総務省通知で、人事院が国の非正規職員である期間業務職員について「公募によらない採用は、同一の者について連続2回を限度とするよう努める」との文言を削除したことを踏まえ、会計年度任用職員の事務処理マニュアルも改正されました。

会計年度任用職員の全体の処遇改善を求めますが、特に比布図書館司書の処遇改善について伺います。図書館司書は経験や専門性が求められる仕事ですが、非正規の会計年度任用職員です。不安定・低賃金の雇用では、経験と専門性の蓄積を困難にし、住民サービスにも影響します。

そこで町長に本町会計年度任用職員の3年目公募について及び、図書館司書の処遇改善の考えについて伺います。

■答弁・村中町長

採用については、募集する職種や勤務条件などを無線放送や町

ホームページなどで周知し、公募を行っています。既に任用している職員については、例年11月から12月にかけて翌年度の任用について状況確認を行い、再度の任用を希望する職員は、これまでの勤務状況や人事評価の結果をもとに選考を行い、継続して任用しています。

会計年度任用職員の職種は多岐にわたり、それぞれの職種における経験やスキル、ノウハウは、住民サービスの向上に大きく寄与しているものと考えます。再度の任用について回数制限を設けることによる人材流出は、行政運営にとって大きなマイナスになり、また、安定した雇用を確保し、安心して働いていただける環境を整えるため、本町では制度の導入当初から回数の制限は設けていません。

また、報酬額や勤務条件については、資格の有無や専門性などを考慮し、それぞれ決定しています。図書館司書についても、資格の有無やこれまでの職歴経験などにより決定し、他の自治体と比較しても低い水準ではないと認識しています。勤務条件についても、月額報酬の会計年度任用職員として任用し、各種休暇の付与や社会保険等への加入、定期的な健康診断の受診などの環境も整えています。

住民サービスの第一線で働く会計年度任用職員は、行政運営をになう重要な人材であると認識しています。公務員給与の状況や働き方改革など、近年の情勢を踏まえ、国や北海道、近隣市町村の状況も把握しながら、今後とも適切に対応してまいります。

□遠藤議員 図書館司書さんの権限がどのくらいあるのか伺います。町民が利用する大事な図書館です。日常的にもう少し権限を持たせた業務というのを考えられないでしょうか。

■村中町長 図書館司書さんにごのような権限があつて、どこまで教育委員会の事務局として持ち、どこから司書さんに任せているかという細かいところは分かりませんが、本町の場合は図書購入に関しては全権図書館司書さんにお任せをしていますので、相当な権限があると思っています。

全ての会計年度任用職員さんに各課において年2回の面談の機会を設けています。その際に様々な意見をそれぞれの職場で聞き、叶えられるもの、叶えられないものがあると思いますが、改善に向けてコミュニケーションを図っています。



小規模自治体の将来について

村中町長

引き続き本町の強みを最大限活かす まちづくりを進める

□質問・佐藤議員

高齢者の暮らしを守り、次の世代の住み慣れた町での暮らしが維持されるためには、普遍的なインフラ整備の一方で大都市にはない価値を高めていくことが重要です。人口が増える地域では様々な事業が功を奏していますが、小規模自治体は顔の見える関係を強みに話し合いを重ね、小さな地域社会のあり方を常に繰り返し取り組むことが可能です。

「比布町過疎地域持続的発展市町村計画」について、国が事業費の7割を実質的に負担する過疎対策事業債の事業計画として、比布町ではどのような事業があり、どこまで進行しているのか伺います。

■答弁・村中町長

本町のまちづくりの最上位計画である「第13次比布町まちづくり計画」では、「住んで良かったと思えるまち」を目標としています。

住民生活に欠くことができない買い物や医療、交通などの環境は、一定の人口が前提となっているため、本町を含めた多くの小規模自治体において共通の課題となっています。

過疎対策事業債の事業計画として、ハード分では、学校教育施設の改善や認定こども園建設への支

さとう よしひこ
佐藤 良彦 議員

援、中央ふれあい広場のリニューアルなど子育てや教育環境の整備のほか、町道や上下水道などのインフラ整備を行っています。今後においては、除雪車両や消防車両など住民生活を守る環境整備のほか、福祉会館や老人センターなど地域コミュニティの活性化を図る事業を計画しています。

ソフト分では、農地流動化促進対策などの農業振興事業のほか、子育て世代の移住者に対する補助や行政区の運営を支援する地域コミュニティ活性化事業などを行っています。

高齢者の貧困問題について

□佐藤議員 「貧困」、これは人々が健康で文化的な、人間らしい暮らしができていない状態を言い、このような状態を解消していく取組みが重要です。高齢者の貧困率（2022年厚労省データ）は18%くらいで、

年金が生活保障の役割を果たせていないことは以前から指摘されています。月額6万円以内の僅な国民年金受給者のみならず、厚生年金受給者でも医療費や介護負担により経済的な困窮に苦しんでいる高齢者が周囲に多くみられます。

そこで、社会性を閉ざしている高齢者が、前向きに地域活動に参

加し相談できる事業を進める上で、さらに一歩、二歩進んだ事業展開ができないか伺います。

■村中町長 町では「ふまねっと運動」や「ピピカツリハピリ体操」など、介護予防事業を地域コミュニティとしても位置付け、健康寿命の延伸とあわせて、孤独・孤立防止に努めています。また、地域企業や各種団体等の協力により「比布町見守りネットワーク協定」を締結し、「いつもと違う」、「ちよつと気になる」など、何かあれば情報提供いただき、地域と高齢者が繋がりを持てる環境を構築しています。あわせて、地域包括支援センターでは、65歳以上の単身高齢者を中心に生活状況の確認を含め、顔の見える関係構築を目的とした訪問活動も行っています。

経済的理由はもちろん、社会的孤立による高齢者の貧困問題は、一朝一夕には解決できるものではないですが、現在実施している取組みの強化・推進に努め、町民の皆様が安心して、いつでも気軽に相談できる体制を整備し、状況に応じた必要な支援を提供することで、地域との関わりの大切さを意識していただき、高齢者が貧困に陥る一因とも言われる孤独・孤立の防止に努めます。

令和5年度各会計決算を認定

令和5年度各会計決算は、議長及び議選監査の八巻良博議員を除く議員7人で構成する決算特別委員会（委員長 今井明信副議長）を設置し、9月10日と11日の2日間にわたり、審議を行いました。

定例会最終日の9月12日に、今井委員長から「委員会として令和5年度会計決算を認定すべきもの」との審査結果報告がありました。

区分	歳入合計	歳出合計	差引
一般会計	4,462,259,888円	4,208,319,296円 翌年度繰越額 1,000円	253,940,592円
国民健康保険特別会計	496,983,964円	493,266,572円	3,717,392円
後期高齢者医療特別会計	74,075,995円	74,055,220円	20,775円
介護保険特別会計	612,400,151円	578,780,993円	33,619,158円
観光事業特別会計	195,642,491円	180,620,706円	15,021,785円
簡易水道事業特別会計	145,064,096円	161,654,073円	△16,589,977円
公共下水道事業特別会計	44,805,721円	36,853,330円 翌年度繰越額 345,000円	7,952,391円
合計	6,031,232,306円	5,733,550,190円 翌年度繰越額 346,000円	297,682,116円

▼一般会計【歳入】

【榎西委員】歳入増のために補助金等の獲得を外部委託することは考えられないか。

【総務企画課長】現状は職員が補助メニューを探して獲得しており、一つのアイデアとして今後検討します。

【遠藤委員】公衆浴場についてアンケート調査が行われているが、そもそも収支が見合う施設ではない。一定程度の利用があり、廃止しないほしいとの声も届いているが考えは。

【税務住民課長】アンケートには入浴料金の設問もあつたため、実際の収支も参考として載せました。町としてはセーフティネットの一つと考えていますので、アンケートの結果も踏まえて検討したいと思います。

【遠藤委員】町営住宅使用料について、雨漏り等で長期間使えない部屋がある場合には使用料を減免するなど、現実的な対応を考えてはどうか。

【建設課長】雨漏りに関しては町で修繕していますが、原因箇所がわからず時間がかかる場合もあります。ご迷惑をおかけする場合があります。

りますが、減免措置ではなく修繕対応をしていく考えです。

【谷口委員】ふるさと納税等の額が伸びているが増額の要因は。

【商工観光課長】ふるさと納税は米の受注が中心ですが、返礼品パンフレットの作成、専用SNS、物産展などへの参加、リピーター確保などに努めています。

【総務企画課長】企業版ふるさと納税は新たな関係構築により増加したことも要因ですが、企業の収益によって納税額が変わる一面もあります。

▼一般会計【歳出】

総務費

【大熊委員】時間外手当について、額から推測するとイベントに関係なく、平日も含めた残業があると思うが、働き方改革と言われている中、改善策はないか。

【総務企画課長】現状の人員体制でカバーできない部分もあり、課長が事務の執行状況を見ながら必要な時間外を認めています。偏った業務負担にならないよう努めます。

【遠藤委員】自衛隊への名簿提供について、除外申請を受け付けてい

る自治体もあるが、本町はどのような取り扱いか。

【総務企画課長】現在は名簿の提供はしておらず、閲覧という形にしていますが、除外申請は検討します。

【佐藤委員】人材とは「人材」であると考え、職員の病気休暇について、その状況及び精神的な病による休暇職員の配置転換の考えは。

【総務企画課長】現在3名の職員が休んでおり、具体的な対策には至っていませんが、今後は専門的な産業医の活用も検討していきます。

【谷口委員】蘭留地区の「めぐみタウン」について企業向けの販売などは検討できないか。

【総務企画課長】戸建て宅地としては進展がなく、企業向けへの検討余地はありますが、水道、排水などの整備が課題です。

【谷口委員】道北バスへの補助金について、今後も支出を続けるのか、補助しない選択肢はあるのか。

【総務企画課長】赤字の要因は名寄線などの地方路線で、沿線自治体の協定に基づき支出しています。

今年10月から路線維持の最適化計画がスタートし、国からの補助も入ることになります。

民生費

【佐藤委員】外国人介護職員の人材育成について、補助金額の状況と、住居の確保について町の関わりは。

【保健福祉課長】奨学金250万円の他に事務費として30万円がプラスされ280万円となっています。令和6年度からは物価高騰などにより370万円に増額されます。住居は基本的には事業者の責任で用意することになりますが、難しい場合には公営住宅への入居も可能です。

【植西委員】社会福祉法人運営事業補助金は、職員が満足して働けるよう余裕ある金額を支出すべきと考え。また、介護ロボットの導入など、職員の負担軽減により人材の流動化を防止する対策も必要と思うが考えは。

【保健福祉課長】外部人材の登用など介護力の底上げを行いながら、法人全体としての黒字化を目指してほしいと考えています。職員の負担軽減対策は安定した経営に繋がると思いますが、継続して協議を行います。

【佐藤委員】生活支援体制整備事業は社会福祉協議会が担うべきでは、町は多くの補助金も出しているが、

将来的な考えは。

【保健福祉課長】社会福祉協議会に担っていたきたい事業であると考えています。人員配置の問題もあり、他の民間事業者に委託しています。社会福祉協議会には地域福祉の中心として関わっていただきたいという考えに変わりはありませんので、今後も地域福祉の向上のため、様々な協議を行っていきます。

衛生費

【植西委員】町民総合健康診査事業について、病気発見の精度が非常に上がっていることから、この部分のPRを強化することや、骨密度や血管年齢の検査を加えて受診率の向上を図ってはどうか。

【健康推進室長】来年度の受診率向上については職員段階で模索中です。骨密度等の検査については、それのみでの判断は難しく、食生活全般や血液データを見て判断していくべきと考えますので、特定健診を重視して取り組んでいきます。

【佐藤委員】新型コロナウイルスワクチン接種の個人負担と、高額な治療薬への助成の考え方は。

【保健福祉課長】令和5年度は国の

全額負担で実施できましたが、6年度は65歳以上の定期接種について3,000円の自己負担を予定しています。ただし、7年度以降は国の考えも不透明な状況です。高額な治療薬への助成については、他の病気との兼ね合いもあり、考えていません。

【植西委員】公衆浴場のポイラーは交換も修理も高額だと思うが、今後はガス給湯器を導入するほうが様々な効率上がるのではないか。

【税務住民課長】ガス給湯器の導入については、必要な湯量の供給ができるかを含め検証が必要です。現在のところ現ポイラーを維持していく考えですが、設備更新には様々な比較検証が必要と思っております。

農林業費

【遠藤委員】アライグマの被害が増えているが、被害状況、健康被害対策についての状況は。また、積極的な駆除対策や凶暴性についての町民への啓発強化、職員の捕獲従事資格取得の考えは。

【農林課長】昨年は27頭の捕獲で1軒から複数頭捕獲した事案もありました。町としては農業被害対策

として実施しており、農家地区の協議会で箱罫を購入して捕獲を実施したり、町としても出産時期前の融雪期に箱罫を設置するなどの対策を実施しています。職員の資格取得は、動物の命を奪うという業務であるため、担当者すべてに強制するのは難しいと考えます。

【谷口委員】冬いちごの収穫量と経費節減に向けた考えは。

【農林課長】令和5年度産の収穫量は約1.9トンでした。10年の実証実験という契約でしたが、栽培技術が確立されたことから、今後はハウス内の温度設定を下げるなどの経費節減も考えながら普及拡大に向けて検討していきます。

商工費

【遠藤委員】市街地公園の花壇の破損や壊れたイルミネーションの放置、広葉樹の剪定や落ち葉処理などについて、しっかりと管理できているか。

【商工観光課参事】落ち葉の清掃は町で行っていますが、その他至らない点については確認し対応します。

消防費

【植西委員】以前に検討となった消防団員の車両を活用した土嚢（どこの）の運搬についての検討結果は。また、給水ポリマーの入った土嚢を活用する考えは。

【消防署長】団員車両の活用については、検討して使用料を予算計上しました。給水ポリマー入りの土嚢は試したことがあり、水の勢いによっては流されてしまったため、不向きと判断しました。

【佐藤委員】原材料費が少額の決算で、押入れの改修に使われたようだが、仮眠室などは衛生的に問題ないか。

【消防署長】押入れを収納しやすいように改修しました。仮眠室はベッドで、エアコンも設置されて環境は良くなりました。

【植西委員】消防署の断熱等、冬の寒さ対策の現状は。

【消防署長】断熱フィルムを張るなどの対策をしています。24時間体制のため、夜中も微小で暖房しており、問題ないと思っています。

教育費

【植西委員】義務教育学校となつて視察に来る自治体等が増えていますが、先進的であることを示すためにもパンフレット等を作成し提供してはどうか。また、先進的で素晴らしい取り組みであることを町民に理解してもらうための周知方法の強化も行うべきではないか。

【教育長】資料は当面手作りのものを活用したいと思いますが、義務教育学校の良さなどは広報紙などに掲載してお伝えできればと思います。

【町長】職員室の統一によって教員のコミュニケーションがより図られるようになりました。ハード面の整備は完成しましたが、教育内容の進化は終わることなく続けたと思います。

【遠藤委員】図書館の新刊冊数を行政報告に加え、新刊本を紹介する機会を検討してほしい。

【教育課長】広報紙の「ぶつくんコーナー」で一部紹介しています。行政報告への掲載も含め、分類別の紹介などについて次年度に向け検討します。

【大熊委員】君の夢プロジェクトは生徒の希望どおりの事業ができて

いるのか。また、今後部員が少数になっても続けてほしいと思うが考えは。

【教育課長】コロナ禍以降は部活動の顧問とも情報共有ができていませんでしたが、今年度は協議会を開催し従来の手法が再開しました。課題はありますが、部員が減つても実施していきたいと思っています。

【植西委員】近年の猛暑によりプール内の室温が相当高くなってしまふようだが、換気方法など改修費用を予算化する考えはないか。

【教育課長】大規模な改修は考えていませんでしたが、室温対策としての予算見積りは検討したいと思っています。

【谷口委員】教育・文化振興事業補助金について、全道大会と全国大会で補助率に差をつけているが、ふるさと納税を活用し、補助率を上げるか、全額支給する考えは。

【教育課長】中体連関係は対象経費の全額、それ以外は決まった補助率で交付しており、一定程度ご家庭の負担は必要と考えています。

【町長】ふるさと納税の活用は一部に偏らない使い方が適切と考えており、本事業はこのままの考え方で続けていきたいと思っています。

【植西委員】部活動等は低所得世帯の子どもにも均等に参加できる機会を与えるべきと考えるが、そういった補助金等の検討は可能か。

【教育課長】部活動に関しては用具費、消耗品などは補助しており、大きな自治体よりは参加しやすい環境と認識しています。

▼介護保険特別会計

【遠藤委員】地域まるごと元気アップ体操が廃止となったが、参加者へのフォローアップは行ったのか。また、ピピリハサポーターの活用で新たな介護予防事業はどのように展開されていくのか。

【保健福祉課長】事業内容が町の実態と合わなくなつたため、個々の状況をフォローできる個別訪問にも対応可能なピピリハけんこう体操に変更しました。事業効果の検証には少し時間を要しますが、サポーターの皆さんの協力をいただきながら介護予防事業の充実に努めます。

▼観光事業特別会計

【植西委員】利用者増の手段として九州地方の修学旅行や大学スキー

サークルの合宿などを誘致することはできないか。

【商工観光課長】場内の宿泊施設が休業しており、大人数は受入れできませんが、小規模校の宿泊や町内民泊施設の利用なども実績がありますので、PRしていきたいと思えます。

【澁谷委員】スキー場最盛期の職員の間外、代休取得の状況は。

【商工観光課長】1月が最盛期で100時間程度の時間外勤務となります。できるかぎり振替休日の取得をさせていますが、現場の状況によって取得できない場合は、時間外手当を支給しています。

▼公共下水道事業特別会計

【植西委員】汚水中継ポンプの更新状況と更新の際の費用負担の考え方、合併処理浄化槽を使用している家庭との平等性をどう考えるか。

【建設課長】ポンプの寿命は10年から15年です。更新費用は本来使用料で賄うのが原則ですが、これまでも一般会計からの補助で実施してきました。下水の受益者分担金徴収、浄化槽への補助金支出などによって、ある程度均衡はとれていると考えています。

▼財産に関する調査

【澁谷委員】有価証券の中で畜産公社の株券があるが、畜産農家が減つた現在では売却を考えてもいいのではないか。

【農林課長】現在も乳牛、肉牛農家があり、その繋がりも考慮して売却の考えはありません。

【植西委員】今後の基金積立の考え方について、庁舎改築の協議を中断し、中学校建設時に7億円の基金を使った経過もあるが、今後、複合庁舎建設も控えているため、どう積み立てていくのか。

【総務企画課長】大幅な積立は難しい状況です。有利な財源等を活用して進めていきたいと思えます。

【町長】中学校は国の補助単価が低く、基金を充当せざるを得ませんでした。今後、サービスの質を落とさずに事業の効率化を図ったり、補助金等の歳入確保に努めます。

▼総括質疑

【遠藤委員】住宅リフォーム支援事業について、断熱工事も補助対象となっているが、北海道の夏にもエアコンが必須の時代になってきていることから、エアコン設置も

補助対象とならないか。

【町長】本事業は、建物自体を改修して、住み続けられる住宅、中古物件として購入しやすい住宅とすることが目的ですので、外壁や窓などの断熱性を高めるなどの改修に活用していただきたいと思っています。

【佐藤委員】寿命という理由でグリーンパークキャンパス場内の樹木がすべて伐採されたが、同じくグリーンパーク内でも伐採が進められていくのか。

【商工観光課長】今回、枯れている樹木を施設利用者の安全確保のために伐採しました。樹木は残していく考えですが、危険箇所の伐採は考えていきます。

【植西委員】今の時代、一つの自治体に整備されていない機能を近隣自治体に求めていく連携中枢都市構想の考え方は理にかなっており、他の自治体の利益になる予算の使い方もあり得ると思うが考えは。

【町長】現行でも一部事務組合などは他の自治体にある施設に対して予算を使っています。一つの町ですべての行政を行うことは難しいため、連携合意の内容によっては、本町の資産にならない場合でも予算を使うことは必要と考えています。

■キャリア教育事業「あしてらびつぷ2024」(8月6〜9日)

【参加者】前期課程4人、後期課程10人、高校生7人、大学生スタッフ5人

■君の夢プロジェクト「吹奏楽部編」(10月11日)

▽文化振興係

■郷土資料館の改修

■比布町文化賞及び文化奨励賞の推薦

■比布町青少年健全育成月間の取り組み

■子ども体験教室「比布アドベンチャーズ」(7月28日)

【対象者】1〜6年生

【参加者】24人

■としよかんまつり、食育講演会の開催

■秋の天体観測



子ども体験教室「比布アドベンチャーズ」



第57回全町ソフトボール大会

▽スポーツ振興係

■ぴっぷ130年記念 第15回全町親睦ミニバレー大会(6月16日)

【優勝】寿松組【準優勝】中町J

【3位】北町B、寿桜組

■子ども水泳教室

■ぴっぷ130年記念 第41回比布ライオンズクラブ旗争奪中学生野球大会(8月10日)

■ぴっぷ130年記念 第57回全町ソフトボール大会(8月25日)

【参加数】A級6チーム、B級5チーム

■ぴっぷ130年記念 比布町キッズバイクファイナルバトル大会

■ウォータースプラッシュバトル(地域おこし協力隊事業)

■所管施設委託業務・工事発注状況

◇比布町青少年会館解体工事

【受注者】株式会社水野工務店

【期間】着手 令和6年7月30日

完了 令和6年10月31日

【内容】体育館以外の解体工事

◇旧新町団地跡地活用にかかる公募型プロポーザル

◇道北バスの運行

◇7月24日の大雨

◇130年記念事業

◇道営土地改良事業計画地区の概要

◇熊の目撃情報等

◇熊の目撃情報等

◇比布町民テニスコート人工芝張替え工事

【受注者】株式会社コタニ工業

【期間】着手 令和6年7月30日

完了 令和6年11月29日

【内容】3面分人工芝張替え、ネット支柱・審判台設置撤去

総務企画課

《報告事項》

■第3回議会定例会提出議案

■令和6年度普通交付税の決定

■令和6年度人事院勧告

■その他

◇複合庁舎建設基本計画のスケジュール

◇7月24日の大雨

◇130年記念事業

◇道北バスの運行

◇旧新町団地跡地活用にかかる公募型プロポーザル

◇道営土地改良事業計画地区の概要

◇熊の目撃情報等

◇地方公共団体の財政健全化に関する報告

◇令和5年度比布町歳入歳出決算認定

◇令和6年度各会計補正予算案

産業建設常任委員会

8月29日開催

農林課

《報告事項》

■農作物の作付状況

■令和5年度いちご冬季栽培実証実績

■熊の目撃情報等

■道営土地改良事業計画地区の概要

《その他》

■畑地化促進事業に係る土地改良区決裁金等支援

《その他》

《報告事項》

■商工観光関係事業経過報告

■令和6年度各施設の利用状況

◇グリーンパークぴっぷ

◇良佳プラザ・遊湯ぴっぷ



ぴっぷ夏まつり「子ども縁日」

■各イベント等の実施状況

◇ぴっぷいちご狩り

【期間】6月17日～7月7日

【農園数】5農園

【来園数】8,670人

◇ぴっぷ130年記念事業ギネス挑戦イベント(8月4日)

【参加者】327人

◇第2回ぴっぷ夏まつり(8月4日)

【来場者】約1,500人

■地方創生臨時交付金活用事業

◇2024比布町生活応援商品券給付事業

【給付者数】3,449人

【商品券利用率】98・49%

(8月21日現在)

■ふるさと納税の状況

【件数】1,203件

【金額】2,272万3千円

【前年比】188%

(8月21日現在)

(8月21日現在)

《協議事項》

■第3回議会定例会提出議案

◇ぴっぷスキー場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例案

(1)スキー場営業時間の変更

現在の営業時間を30分間短縮。

午前9時から午後9時の営業時間を午前9時から午後8時30分までとする。

(2)スキーリフト券等の改定

①一般券のファミリーパックを新設

②町民向けシーズン券町民ファミリーを廃止

③町内ファミリーパックの対象範囲を小学生以下から中学生以下へ拡大

④ナイト券、町内向け小学生シーズン券、町外シーズン券は据え置き

⑤町民向けシーズン券(小学生除く)は値下げ

⑥シニアを65歳以上とする

※改定後の主な料金は下の表のとおりです。

◇令和6年度観光事業特別会計補正予算案

《その他》

■観光振興を目的とした新税(道税)

スキーリフト券・シーズン券 料金表

券種	大人	小人	シニア
12回券	3,600円	2,700円	
1日券	3,800円	2,800円	2,800円
1日券ファミリーパック (大人1枚、小人1枚)	4,500円		
4時間券	3,000円	2,300円	

シーズン券	大人	中学生	小学生以下	シニア
町民	15,000円	5,000円	5,000円	15,000円
町民ファミリーパック (大人1枚、中学生以下全員)	18,000円			
町民以外(参考)	45,000円	35,000円	28,000円	35,000円



ぴっぷスキー場

建設課

《報告事項》

■建設工事の発注及び進捗状況

■道路環境整備事業等の実施状況

■放棄した私債権の報告

■大雨による被害、対応状況

■水質検査の項目追加

《協議事項》

■第3回議会定例会提出議案

◇令和6年度一般会計、簡易水道・公共下水道事業会計補正予算案

《その他》

■簡易水道・下水道事業基金条例案

農業委員会

《報告事項》

■農地法及び基盤強化法による農用地集積状況

■経過及び予定

産業建設常任委員会

10月12日開催

商工観光課

《協議事項》

■第3回議会定例会提出議案

◇令和6年度一般会計補正予算案

研修報告

青果振興会役員並びに関係機関との研修会

持続可能な農業へ

毎年実施している青果振興会役員並びに関係機関との研修会に参加しました。

現場視察では、いちご苗の生育ハウス見学と共に、今年から始まった袋を使って野菜を生育する現場への視察に伺いました。

現在、袋を使ってオクラを育てていますが、このメリットは、稲の育苗終了後、その土壌状態に係なく同じハウス内で野菜を育てることができるところです。



ハウス内の様子



栽培用の袋で野菜を育てます

数年前から力を入れているオクラの生産数を上げるために、またそれによって農家の収入を上げるために良い結果が生み出されるものと期待しております。

持続可能な農業にとって、収入を十分に確保することが最も重要な課題です。

個々の農家、農業法人、そして農協が一体となって、それぞれの工夫をさらに高めることが大切だと感じました。

(植西 浩二)

研修報告

全道町村議会広報研修会

「読者に読まれる」

広報紙を目指して

全道町村議会広報研修会が8月20日に札幌市で開催されました。

講師には、昨年と同じく自治体広報広聴研究所 代表理事・広報アドバイザーの金井 茂樹(かない しげき)氏を迎え、「読者に読まれる議会報の企画と編集」と題して講演が行われました。

わかりやすく、関心を持ってもらえる広報紙にすべく、町民の皆さんへ何を伝えたいのか企画・編集を行い、より良い地域社会の実現に向けて課題や問題意識を協働

しながら、議会活動をしっかりと伝えることが重要と話されています。

後段、6町村の議会広報クリニクが行われ、読者にとって読みやすく、伝わるような広報紙となるよう、講師からアドバイスをいただきました。

今回の研修により、これからも皆さんにより深く議会活動を理解していただけるよう、情報が伝わる広報紙の作成に取り組んでいきたいと思えます。

(大熊 勝幸)



全道の議員・事務局職員で会場は超満員



議会のうごき

8月

- 1日 びっぶ130年記念事業「旭川・札幌・東京比布会合同ふるさと訪問」交歓会
(福祉会館、各議員)
- 7日 北海道森林・林業・林産業活性化促進議員連盟連絡会総会 (札幌市、産建委員長)
- 8日 農業経営基盤強化推進協議会 (図書館、議長)
- 20日 北海道町村議会広報研修会 (札幌市、委員)
米麦改良協会役員会 (農協、議長)
- 23日 上川中央部市・町議会議長定例会議
(美瑛町、議長)
- 26日 総務常任委員会 (役場、委員・議長)
- 29日 産業建設常任委員会 (役場、委員・議長)
- 30日 東神楽町複合施設はなのわグランドオープンセレモニー (東神楽町、議長)

9月

- 1日 旭川比布同郷会総会 (旭川市、議長)
- 4日 議会運営委員会 (役場、委員・議長)
- 10日 第3回議会定例会 ～ 12日 (役場、全議員)
決算特別委員会 ～ 11日 (役場、委員・議長)

- 11日 議会広報特別委員会 (役場、委員)
- 12日 産業建設常任委員会 (役場、委員・議長)
議会改革特別委員会 (役場、委員・議長)
- 17日 常任委員会合同行政視察調査 ～ 18日
(南幌町ほか、委員・議長)

10月

- 4日 議会改革特別委員会 (役場、委員・議長)
- 5日 滋賀県湖南市市制施行20周年記念式典
～ 7日 (湖南市、議長)
- 11日 議会広報特別委員会 (役場、委員)
- 17日 上川管内町村議会議長研修会 ～ 18日
(美深町、議長)
- 22日 上川管内町村議会議員研修会
(東神楽町、全議員)
- 23日 議会広報特別委員会 (役場、正副委員長)
議会と話そう① (南分館、全議員)
- 30日 遠別町議会行政視察来町 (役場、議長)
- 31日 町村議会議員特別セミナー (千葉県、副議長)

編集後記



8月4日、町内体育館にてギネス世界記録®「同時に卵かけご飯を作った最多人数」の挑戦が行われ、参加者327人中325人が成功し、ギネス世界記録に見事認定されました。

今回の挑戦は、昨年11月に比布中央学校9年生が町に提案したものです。

当日は提案者の一人である前原巨くんが会場で紹介されていますが、実はギネス挑戦数日前のお祭りの出店内で、前原くんのお父さんに偶然お会いした際「息子たちが発案したことが実現する」と話され、大変喜んでいました。

私たち家族も参加しましたが、3,500人の小さな町でも体育館が狭く感じるほど一体感のある良いイベントでした。

参加できたことは大変喜ばしく、感謝の気持ちでいっぱいの間を過ごしました。

(佐藤 良彦)

